

P D F 変換によるデータの変化に対するご注意

Windows のソフトで作成されたデータの P D F 変換の結果が、画面上やプリンター出力したものと異なることがあります。注意が必要です。

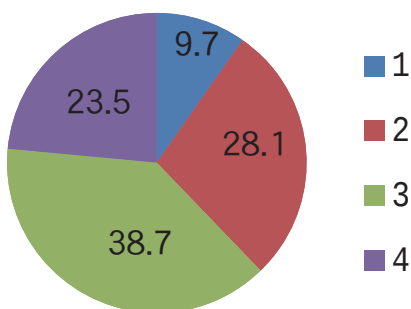
カラーで作成されたものを P D F のグレーに変換しますとグラフの色合いなどが思うようなものにならない場合があります。

以下に P D F のグレー変換の際に起こりがちな現象を何点か挙げさせていただきますので変換の際の参考とされてください。

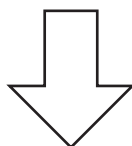
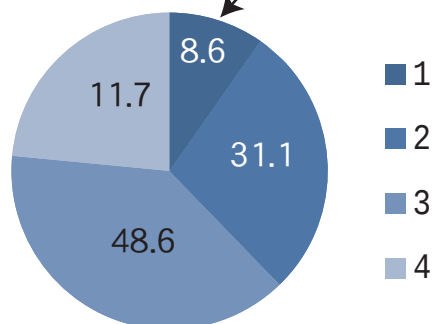
例 1 色の変化 1

グラフの中の文字がみえにくい

カラーの
原稿

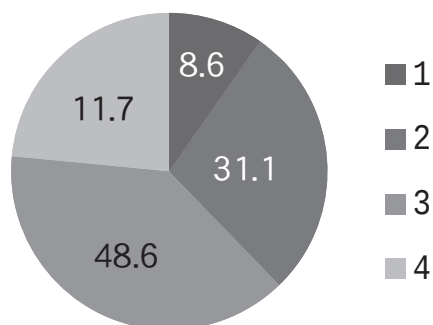
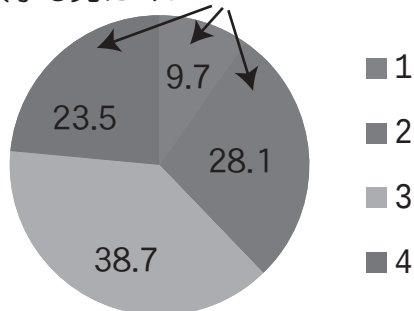


予め数字は白抜きにした方がよい

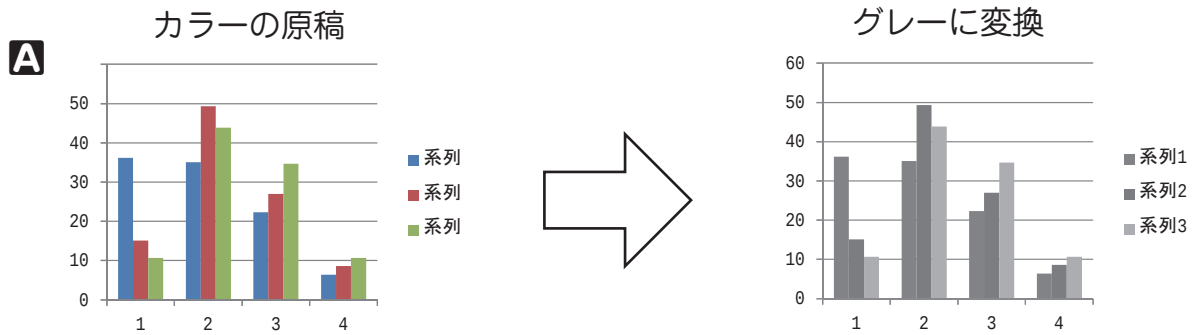


色の差がハッキリしない
数字も見にくい

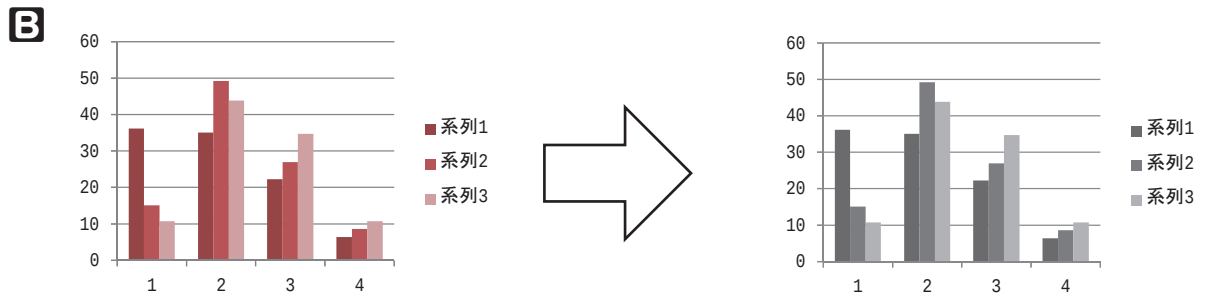
グレーに
変換



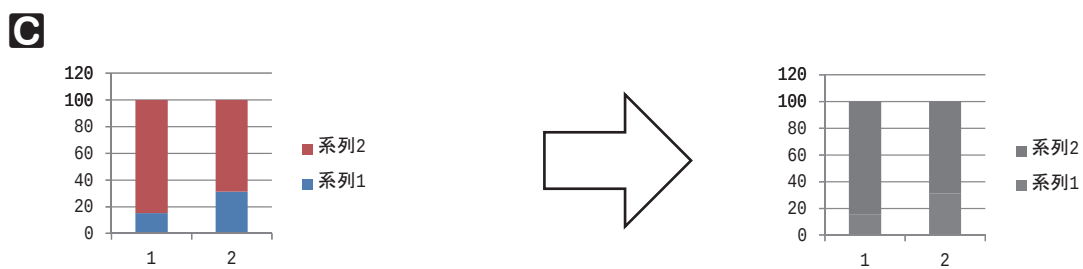
カラーですと、差がはっきり出ますが、グレーですと色の差がはっきりしません。濃い色の上に文字を置くとハッキリ見えないので白文字にする必要があります。



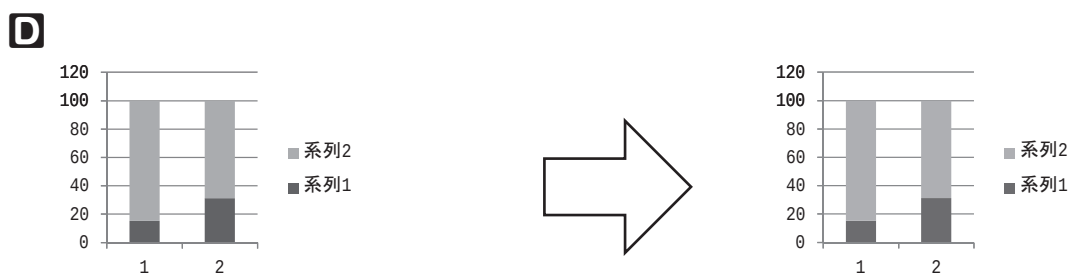
青と赤の色の差が不明瞭です



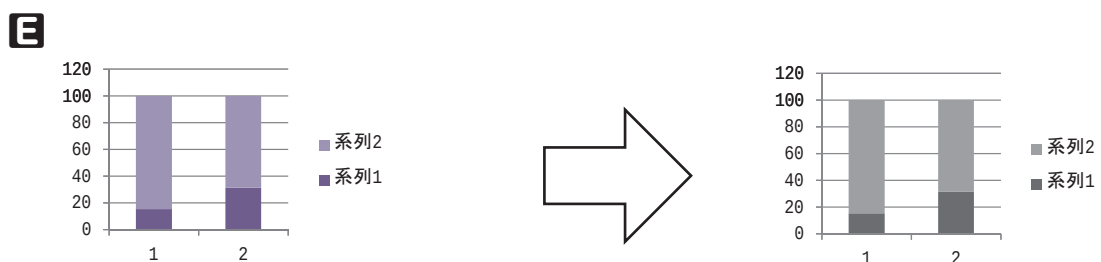
同じ色の濃淡のデータは、濃い部分の差が明瞭ではありません。



この例のグラフの青と赤はグレーに変換されると色の差がほとんどなくなり、まったく判別がつかなくなります。



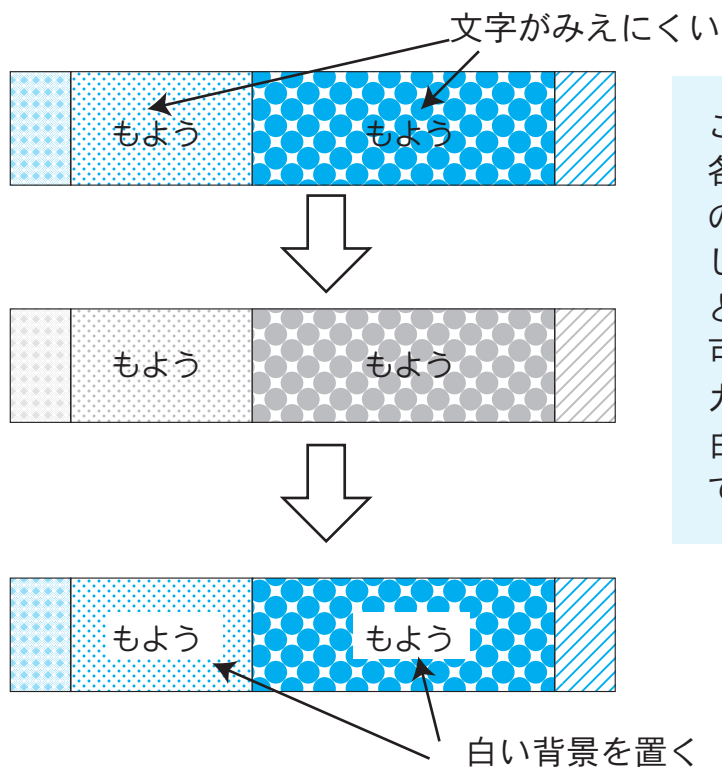
もともとグレーで作成されたものはあまり変化はありません。



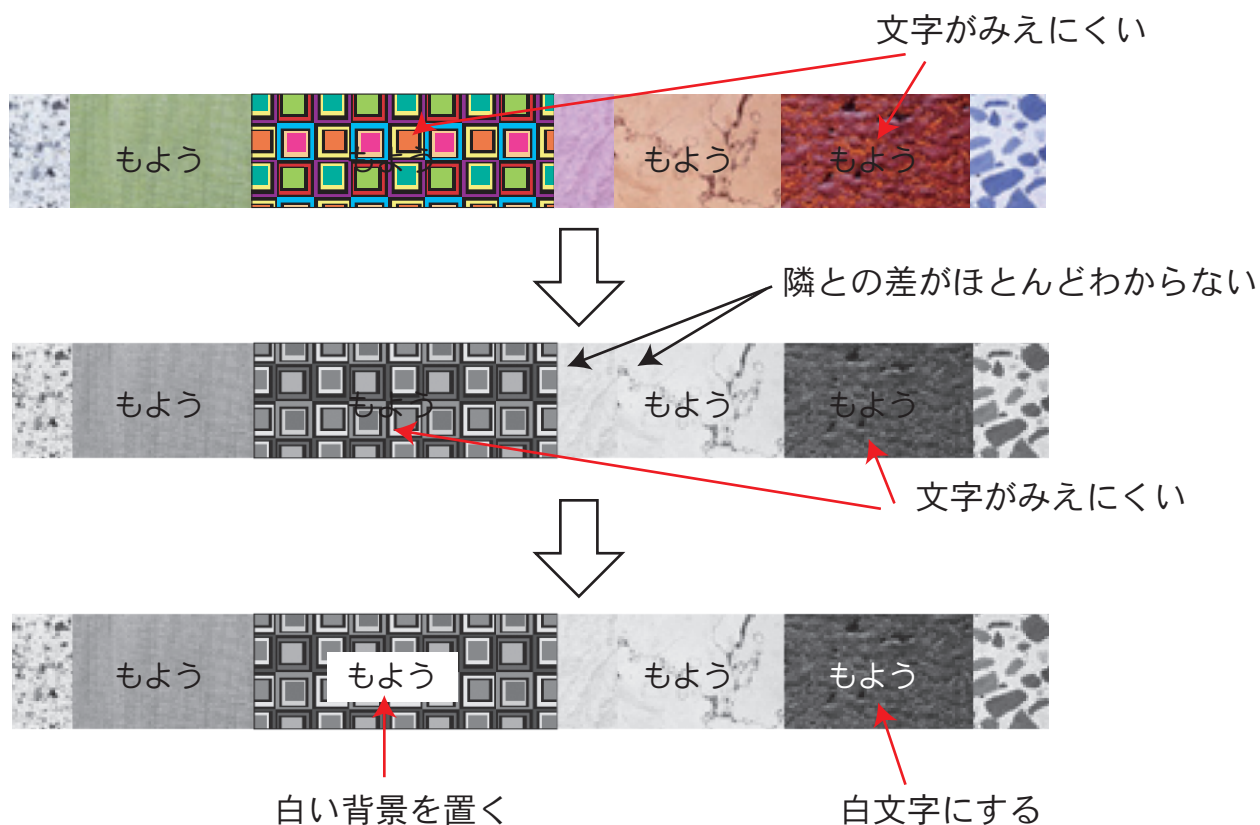
同系色の濃淡では極端な濃度の差があれば明瞭に変換されます。

例 3

模様による変化



このパターンに関して言えば各模様の違いは判別できますが、カラーのままですと、文字の判別は難しいです。しかし、グレーに変換すると、「もよう」という文字は見にくいながらも判別は可能です。カラーの部分の「もよう」という文字は白文字か背景に白い長方形を置くとよいでしょう。



このパターンではまん中あたりのピンク系の模様がグレーになるとハッキリしません「もよう」の文字ですが、カラーでも見えにくい部分があります。黒い模様の中は見にくくなりました。白文字にするか、背景に白い長方形を置くことをお勧めします

A**B****C**

元写真の**A**に対して、PDFでグレイ変換したものが**B**です。

Cは元の写真を当社で調整したものです。

ワードなどに張り込まれた状態でPDFでグレイ変換すると写真は、**B**のように暗くなったり、メリハリのない写真になりがちです。ハッキリとした綺麗な画像をご希望でしたら、張り込む前の元の写真データ（jpeg 形式）を別にご用意していただければ、こちらで上からきれいな画像を張り込むことが可能です。**その際は担当営業にご相談ください。（別途費用が発生いたします）**

PDFになった状態での写真の調整はいたしていません。

まとめ

1. グラフの塗りつぶしについて

- ・赤と青がとなりあった状態はグレーになると色の差がまったくわからなくなるので避けた方がよい。
- ・濃度が濃いものの隣には薄い濃度のものをもってくる。色が違っていても濃度が同じくらいだとグレーになると差がわからなくなる。
- ・各種模様での塗りつぶしは印刷用PDFへの変換では再現性が非常に劣ります。(少ないグラフでしたら、塗りつぶしはなしで、当社で塗りつぶしを行ったほうが印刷ではキレイに出来ます)

2. グラフ内の数字について

- ・グラフの外に配置し、案内線でひっぱる方がよい。
- ・濃い色の中では白文字にした方がよい。
- ・背景に白い地を置いて文字を配置する方法もお勧め。

3. 写真はあとで調整が効かないので予めグレーになった時のことを念頭に張り込む。また、どうしても明瞭に印刷したい場合は、元データを用意する。

4. ワードなどの文中にエクセルのデータを張り込んだものがありますが、元のエクセルが入っていないと手直しは出来かねますので、訂正のない状態で張り込むか、元データの添付をお願いいたします。

5. カラーについて

Windows データは一般にRGBというカラーモードですが、印刷物はCMYKというカラーモードなのでウィンドウズと同じような色合いにはならないことをご了解ください。(どうして再現できないを参照?)

- ・色がくすんだ感じになる
- ・鮮やかさに欠ける

以上、主なものを記入いたしましたので、データ作成の際の参考となされてください。